

しゅわ し たいけん 手話を知ろう！体験しよう！

しゅわのこともっと知って、^し耳の聞こえない人との^{ひと}コミュニケーションの輪を^{ひろ}広げていきましょう。



1 しゅわ なに 手話って何かな？

しゅわ め み 手話は「目で見ることば」

しゅわ みみ き ひと て ゆび からだ うご ひょうじょう つか み 手話は、耳の聞こえない人にとって、手や指、体の動き、表情を使って、見てわかるように^{ひょうげん}表現する言語として、^{げんご}大切に受け継がれてきました。コミュニケーションの手段として生まれ、^{はぐく}育まれ、^{はってん}発展してきた手話は、「目で見ることば」です。

ふくやまし しゅわ げんご じょうり 福山市こころをつなぐ手話言語 条例

ふくやまし ねん へいせい ねん がつ にち しゅわ し たが 福山市では、2017年（平成29年）12月20日、手話のこともっと知り、互いに^{ささ}支え合って、だれもが^{あんしん}安心してくらすことができるまちづくりをめざして、「福山市こころをつなぐ^{しゅわ げんご じょうり}手話言語 条例」が^{せい}制定されました。

この条例には、手話を言語として認め、大切にしていくこと、手話の理解を広げていくこと、手話を使って安心して生活できる環境づくりを進めることなどが示されています。手話を^{にちじょうてき}日常的に使用できる環境を整えることにより、耳の聞こえない人も聞こえる人も、互いに^{こころ}心と心が^ふ触れ合い、^{つう}通じ合うまちづくりをめざしています。

ローズマインド（^{おも}思いやり・^{やさしさ}やさしさ・^{たす}助け合いの心）を大切にしているんだね。

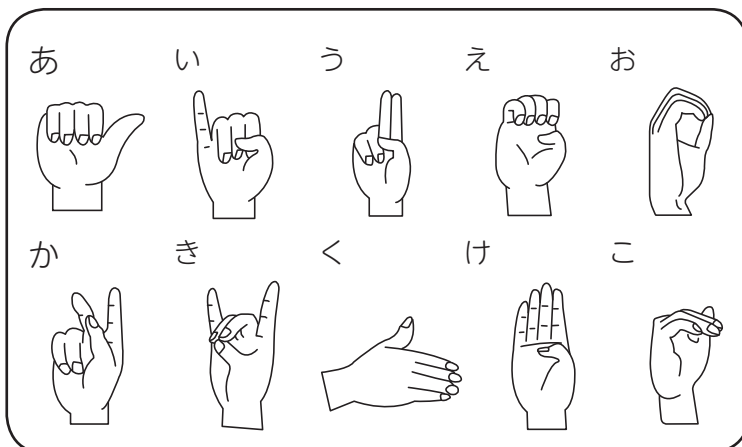


ゆびも じ しゅわ 指文字も手話のなかま

ゆびも じ しゅわ にほんご ごじゅうおん あらわ ほうほう しゅわ ひょうげん 指文字は、手話のひとつで、日本語の五十音を表す方法です。手話の表現にないことばや^{じんめい}人名・地名など、固有のことば^{あた}や新しいことばなどは、^{ゆびも じ}指文字を使って、^{いちじ}一字ずつ表します。

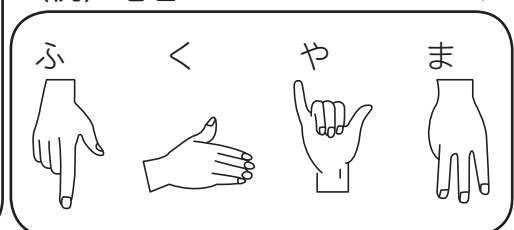
※この指文字は相手から見た形です。

ごじゅうおん 五十音



いろいろな指の動きが一つの音を^{おと}表しているよ。ほかの指文字も調べてみよう。

れい ちめい (例) 地名



2 手話を使ってみよう！

まずは日常のあいさつから

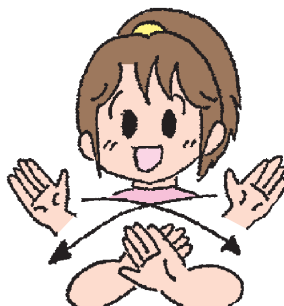
気持ちとどくよう
表情も大切にね。



おはよう (朝)



こんにちは (昼)



こんばんは (夜)



お疲れ様



ありがとう



すみません



よろしくお願いします うれしい (楽しい)



「聞こえない人とのコミュニケーション【改訂版】(一般社団法人広島県ろうあ連盟) から

3 みんなが安心して過ごせるように

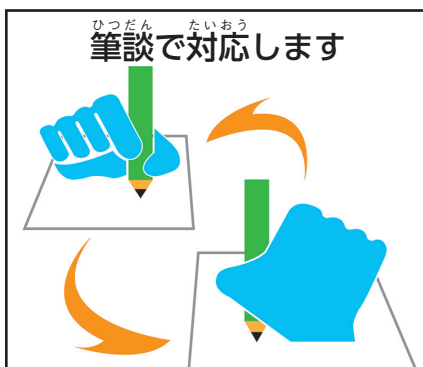
手話マークなどの掲示

学校や市役所等の公共施設で、耳の聞こえない人が、安心して過ごせるように「手話マーク」や「筆談マーク」を掲示しています。

(手話マーク)



(筆談マーク)



みなさんの学校では、どこに掲示してあるかな？



※ 福山市ホームページでは、「福山市 手話をやってみよう (動画)」を配信しています。あいさつ編など、身近で使える内容を掲載していく予定です。(問合せ先：障がい福祉課)